

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	教育工学		
英文授業科目名	Educational Engineering		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	教職科目-教育課程及び指導法に関する科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	田村 恭久		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ytamura@sophia.ac.jp	http://moodle.info.sophia.ac.jp

【主題および達成目標】
<p>教職を目指す学生を主な対象とし、教育工学や学習支援技術に関連する様々なトピックを概観する。教授法や学習支援の歴史、最近のコンピュータやネットワークを応用した学習形態であるeラーニングの技術と実践、学習プロセス設計の基礎であるID(Instructional Design)、教育と学習の歴史や学習者観、教育のさまざまなマーケットなどを取り上げる。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
特になし。講義時にプレゼンテーションスライドの印刷物を配布する。

【授業内容とその進め方】
講義を中心として進める。毎回の講義に対する感想や課題をeラーニングを用いて提出させる。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

いくつかの単元で、考察や調査を要する課題を課す。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席と毎回の講義に対する提出物（リアクションレポートや課題）を総合評価する。7割以上の提出が必要。期末試験は行わない。

【オフィスアワー：授業相談】

- ・ 授業の前後に質問等を受け付ける
- ・ 本務校（上智大学）来訪を希望する場合は、事前にメールで日時を調整のこと

【学生へのメッセージ】

授業の本質は「先生に注意を向けること」ではなく、「授業内容に集中すること」のはず。従来の教室での集合教育は、ともすると前者に傾きがちだったが、eラーニングによって後者の割合が高くなってきた。とはいえ、eラーニングは登場してから10年ほどの発展途上技術。皆さんがご自分の授業でこれを効果的に使い、皆さんの生徒が本来の「学習」を楽しめるような教育現場を切り開いていくことを願って、現状と今後の可能性を述べていきます。

【その他】

特になし